

公益財団法人 野村財団
第7期 事業報告書
平成28年4月 1日から
平成29年3月31日まで

I. 概況

当財団は、社会科学分野の学術研究・教育活動に対する助成、外国人留学生に対する奨学金の給付、世界経済に関する研究・研究会議の開催・研究成果の刊行、芸術文化の国際交流活動に対する助成及び若手芸術家の育成活動に対する助成を行うことなどにより、我が国の学術研究、世界経済及び芸術文化の発展に寄与し、国際的な人材の育成と国際相互理解の促進に資することを事業目的としています。当年度は、第7期事業計画に従い、以下のように事業を行いました。

社会科学助成事業については、研究プロジェクト、日本の研究者の海外派遣や海外在住研究者の日本への招聘、講演会等、奨学研究員、客員研究員及び研究設備に関する助成を実施しました。

外国人留学生奨学事業については、日本の大学の大学院に在学し、社会科学又は人文科学の修学を目的とする外国人留学生に対する奨学金の給付を行いました。

世界経済調査研究事業については、世界経済の動向に関する研究会議及び世界の資本市場の最新動向に関する研究会議を開催し、その研究成果を出版する他、ホームページで公表しました。

芸術文化助成事業については、美術部門および音楽部門の公募助成の他、新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成、敦煌研究院研究者の受入事業に対する助成を行いました。

財務面では、基本財産運用益は2億5,975万円で、基本財産の運用利回りは年率2.45%でした。事業費2億3,586万円、管理費1,585万円を合わせた経常費用は2億5,171万円で、当期経常増減額と当期一般正味財産増減額はともに807万円でした。基本財産期末残高は106億円、指定正味財産期末残高は102億306万円、一般正味財産期末残高は8億3,580万円でした。

II. 各事業の実施状況

1. 社会科学助成事業

(1) 研究助成：研究プロジェクトに対する助成

助成件数：19件（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成5件）

助成額：1,908万円（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 908万円）

(2) 国際交流助成：日本の研究者の海外派遣及び海外在住研究者の日本への招聘に対する助成

助成件数：17件（①派遣 15件、②招聘 2件）

助成額：1,220万円（①派遣 1,105万円、②招聘 115万円）

(3) 講演会等助成：講演会・研究会議等に対する助成

助成件数：8件（うち女性が輝く社会の実現をテーマにした講演会等助成 4件）

助成額：592万円（うち女性が輝く社会の実現をテーマにした講演会等助成 312万円）

(4) 奨学研究員助成：東京大学大学院法学政治学研究科及び同経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターの奨学研究員制度に対する助成

助成件数：2件

助成額：350万円

(5) 客員研究員助成：東京大学大学院経済学研究科に対する助成

助成件数：3件

助成額：50万円

(6) 研究設備助成：図書、設備備品、特別講義の開設準備等の経費に関する助成

助成件数：1件

助成額：600万円

2. 外国人留学生奨学事業

日本の大学の大学院に在学し、社会科学または人文科学の修学を目的とする外国人留学生のうち、留学生活上、経済的援助を必要とすると認められ、学業成績が優秀な者に対し一人月額15万円の奨学金の給付を行いました。

対象者：18名（2015年度生8名、2016年度生10名）

助成総額：3,120万円

3. 世界経済調査研究事業

(1) 世界経済の動向に関する研究会議の開催

テーマ：「生産性、テクノロジーおよび経済成長」（マクロ経済研究会議、平成28年11月16日、東京）

(2) 世界の資本市場の最新動向に関する研究会議の開催

テーマ：「イノベーションによる発展と資本市場」（中日資本市場ラウンドテーブル、平成28年5月21日、中国広州）

(3) 出版

Nomura Journal of Asian Capital Markets の刊行（平成28年10月17日及び平成29年3月30日）

国会図書館、大学図書館など約220箇所へ寄贈。

(4) ホームページでの調査研究成果等の公表

当財団が主催する研究会議の概要、会議において発表された研究論文、及び刊行物のコンテンツ等（日本語及び英語）

4. 芸術文化助成事業

(1) 美術公募助成

若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成を行いました。

助成件数：70件（①団体 30件、②個人 40件）

助成額：1,980万円

(2) 音楽公募助成

若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成を行いました。

助成件数：51件（①団体 29件、②個人 22件）

助成額：2,000万円

(3) 新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成

東京藝術大学大学院美術研究科博士課程の大学院生を対象として、特に優秀な作品を選定して買い上げ同大学美術館で保存する顕彰事業「野村美術賞」に対する助成を行いました。

助成額：300万円

(4) 敦煌研究院研究者受入事業に対する助成

東京藝術大学における敦煌研究院研究者の受入事業に対する助成を行いました。

助成額：100万円

Ⅲ. 評議員会・理事会・選考委員会開催状況

評議員会

開催日	会議名	議案	結果
平成28年5月27日	第18回臨時評議員会	・評議員及び理事の選任 ・議事録署名人の選定	承認可決
平成28年6月13日	第19回定時評議員会 (決議・報告の省略)	・平成27年度決算書類 ・平成27年度事業報告（報告事項）	承認可決
平成29年3月22日	第20回臨時評議員会	・アジア資本市場研究会議準備資金の設定 ・積立資産の取り崩し枠の設定 ・理事の選任 ・議事録署名人の選定	承認可決

(注) 決議及び報告の省略については、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たため、評議員会の決議ないしは報告があったものと見なしました。

理事会

開催日	会議名	議案	結果
平成28年5月13日	第31回臨時理事会 (決議の省略)	・第18回臨時評議員会の招集	承認可決
平成28年5月27日	第32回定時理事会	・平成27年度事業報告 ・平成27年度決算書類 ・顧問及び選考委員の選任 ・代表理事の職務執行状況の報告（報告事項）	承認可決
平成29年3月6日	第33回臨時理事会 (決議の省略)	・第20回臨時評議員会の招集	承認可決
平成29年3月22日	第34回定時理事会	・平成29年度事業計画 ・平成29年度収支予算 ・アジア資本市場研究会議準備資金の設定 ・アジア資本市場研究会議準備資金取扱規程の制定 ・積立資産の取り崩し枠の設定 ・代表理事の職務執行状況の報告（報告事項）	承認可決

(注) 決議の省略については、理事全員から書面による同意の意思表示が得られ、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものと見なしました。

選考委員会社会科学助成部会

開催日	会議名	議案	結果
平成28年6月29日	臨時選考委員会 (決議の省略)	・部会長の選定	承認可決
平成28年9月20日	2016年度下期選考委員会	・2016年度下期国際交流助成、女性が輝く社会の実現をテーマにした講演会等助成の予算配分と助成額 ・2017年度金融・証券のフロンティアを拓く研究助成の一次選考通過者の選定 ・議事録署名人の選定	承認可決
平成29年1月27日	2017年度上期選考委員会	・2017年度上期研究助成、国際交流助成、講演会等助成の予算配分と助成額 ・2017年度金融・証券のフロンティアを拓く研究助成の助成額	承認可決

		<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度・2016年度採択の金融・証券のフロンティアを拓く研究助成の助成継続 ・2017年度非公募助成の助成額 ・議事録署名人の選定 	
--	--	---	--

(注) 決議の省略については、部会選考委員全員から書面による同意の意思表示を得たため、選考委員会部会の決議があったものと見なしました。

選考委員会外国人留学生奨学部会

開催日	会議名	議案	結果
平成28年6月29日	臨時選考委員会 (決議の省略)	・部会長の選定	承認可決
平成29年1月17日	2017年度選考委員会	・2017年度外国人奨学生の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決
平成29年3月21日	臨時選考委員会 (決議の省略)	・2017年度外国人奨学生の追加選考	承認可決

(注) 決議の省略については、部会選考委員全員から書面による同意の意思表示を得たため、選考委員会部会の決議があったものと見なしました。

選考委員会芸術文化助成部会

開催日	会議名	議案	結果
平成28年6月29日	臨時選考委員会 (決議の省略)	・部会長の選定	承認可決
平成28年8月1日	2016年度下期選考委員会	・2016年度下期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決
平成29年1月30日	2017年度上期選考委員会	・2017年度上期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決

(注) 決議の省略については、部会選考委員全員から書面による同意の意思表示を得たため、選考委員会部会の決議があったものと見なしました。

以上